

公益社団法人 日本水産学会
平成 28 年度第 1 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 28 年 3 月 13 日(土) 14 時 30 分～17 時 02 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス
2 号館 200A-2 会議室 (東京都港区港南 4-5-7)
- 3 理事総数及び定足数
総数 20 名、定足数 11 名
- 4 出席理事数 19 名
(本人出席) 荒井克俊、荒井修亮、飯田貴次、伊藤文成、大越和加、香川浩彦、金子豊二、
木島明博、嵯峨直恆、佐竹幹雄、青海忠久、関 伸吾、東海 正、時村宗春、
古谷 研、松山倫也、山下 洋、渡邊良朗、渡部終五
(監事出席) 青木一郎、瀬川 進
(幹事出席) 荒川久幸、石田真巳、鈴木直樹、鈴木美和、久田 孝、二見邦彦
- 5 議 案
決議事項 第 1 号議案 「平成 28 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項等」の
件
第 2 号議案 「理事の職務権限規程及び委員会関連規程の改正」の件
第 3 号議案 「特定個人情報取扱規程の制定」の件
第 4 号議案 「平成 28 年度漁業懇話会委員会委員の交代」の件
第 5 号議案 「平成 28 年度水産教育推進委員会委員の交代」の件
第 6 号議案 「平成 28 年度秋季大会委託業者」の件
第 7 号議案 「平成 28 年度秋季大会募金目論見書」の件
第 8 号議案 「平成 29 年度春季大会」の件
第 9 号議案 「協賛」の件
第 10 号議案 「入会承認」の件

報告事項 第 7 回理事会以降の職務執行の状況
その他
- 6 議事の経過及びその結果
(1) 定足数の確認等
渡部会長が定足数の充足を確認し、続いて本会議の議事進行について説明があった。
(2) 議案の審議状況及び議決結果等
定款の規定に基づき、渡部会長が議長となり、本会議の成立を宣言し、議案の審議に移った。
(決議事項)
第 1 号議案 「平成 28 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項等」の件(別紙
1)
平成 28 年度公益社団法人日本水産学会社員総会の次第について資料にもとづき、金子総務
担当理事より説明があり、出席理事全員一致でこれを可決した。
続いて、金子総務担当理事より「平成 27 年度事業報告」について説明があった。また、山下財
務担当理事より「貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録」について、平成 27 年度決算
書類(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)にもとづき、説明があった。審議の結果、
一部修正の上、出席理事全員一致でこれらを可決した。
第 2 号議案 「理事の職務権限規程及び委員会関連規程の改正」の件(別紙 2)

金子総務担当理事より、理事の職務権限規程の一部改正及び関連する委員会の運営規程の一部改正の原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

本議案について以下の意見交換があった。

古谷理事「各委員会の業務を担当理事が監督すると明記すると、理事会は各委員会の案件の審議や執行に関与しないことになるのか。」

青木監事「理事会運営規程に、理事会は理事の職務の執行を監督することが明記されている。従って、委員会の業務を担当理事が監督し、各担当理事の職務を理事会が監督するので問題ないのではないか。」

東海理事「定款に、法人の業務は業務執行理事が分担執行すること、また、法人の業務執行は理事会が決定していることが明記されている。従って、理事会が各理事に業務執行を委任していることになり、業務執行の責任は各理事にある。」

木島理事「理事による監督というのは、例えば委員会において投票で決議した案件に対しても理事が理事会に諮るので一旦待つように指示するような権限も含まれるのか。」

渡部会長「そのような権限も含まれる。各委員会の業務を担当理事が責任もつことを明確にするのが今回の改正の趣旨である。問題がありそうな案件は理事会で審議し、理事会が最終的な責任をもつことを各委員会が承知の上で業務を行ってほしい。」

古谷理事「理事や委員が入替っても同じ認識が共有されることが重要である。」

渡部会長「このような体制で業務執行していることを再認識する良い機会でもある。各業務執行理事は、このような体制で業務執行していることを各委員会に周知してほしい。最終的には理事会が責任をもつので、問題がありそうな案件は各理事から理事会に上げてほしい。」

第 3 号議案 「特定個人情報取扱規程の制定」の件(別紙 3)

金子総務担当理事より、特定個人情報取扱規程の原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 4 号議案 「平成 28 年度漁業懇話会委員会委員の交代」の件

金子総務担当理事より、漁業懇話会委員会委員の交代について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[選出] 南条俊明 [辞退] 木下弘実

第 5 号議案 「平成 28 年度水産教育推進委員会委員の交代」の件

金子総務担当理事より、水産教育推進委員会委員の交代について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[選出] 江幡恵吾 [辞退] 松岡達郎

第 6 号議案 「平成 28 年度秋季大会委託業者」の件

荒井(修)近畿支部担当理事より、平成 28 年度秋季大会の運営を委託する業者の原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 7 号議案 「平成 28 年度秋季大会募金目論見書」の件

荒井(修)近畿支部担当理事より、秋季大会募金目論見書の原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

第 8 号議案 「平成 29 年度春季大会」の件

時村関東支部担当理事より、平成 29 年度春季大会についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

日程 平成 29 年 3 月 26 日(日) ~ 30 日(木)
場所 東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区)
大会委員長 菅野信弘(北里大学海洋生命科学部)

第 9 号議案「協賛」の件

審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

Autonomous Underwater Vehicles 2016 (自律型無人潜水機に関する国際会議)

主催 IEEE Oceanic Engineering Society, IEEE/OES 日本支部,
東京大学生産技術研究所

協賛 日本ロボット学会 他 14 団体

日程 平成 28 年 11 月 6 日(日)~9 日(水)

場所 東京大学生産技術研究所カンファレンスホール「Haricot」(東京都目黒区)

希望 協賛

負担金 なし

第 10 号議案「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

(報告事項)

第 7 回理事会以降の職務執行の状況

・会長

渡部会長より、学会員数の減少を食い止める必要があり、そのための一手段として若手の会の活動を支援してきたので、次期の理事会でも支援を続けてほしい、との報告があった。

・庶務関係

東海担当理事より次の報告があった。

1) 平成 28 年度資格喪失者について

金子担当理事より次の報告があった。

2) 協賛の件(共催、協賛、後援の取り扱い申し合わせ 3)を適用)

食品ハイドロコロイドセミナー2016

主催 食品ハイドロコロイド研究会

協賛 化学工学会 他 25 学協会

日程 平成 28 年 5 月 12 日(木)

場所 東京海洋大学白鷹館多目的スペース(東京都港区)

希望 協賛

負担金 なし

第 27 回食品ハイドロコロイドシンポジウム

主催 食品ハイドロコロイド研究会

協賛 化学工学会 他 25 学協会

日程 平成 28 年 5 月 13 日(金)

場所 東京海洋大学楽水会館鈴木善幸ホール(東京都港区)

希望 協賛

負担金 なし

第 61 回低温生物工学大会

主催 低温生物工学会

協賛 日本生物工学会 他 10 学会(予定)

日程 平成 28 年 6 月 25 日(土)

場所 東京電機大学鳩山キャンパス本館第 2 メディアルーム(埼玉県比企郡)

希望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

東海担当理事より、以下の報告があった。平成 28 年 3 月 2 日(水)に第 1 回委員会が開催され、

通常の企画記事の進捗状況の確認と企画記事の検討を行った。また編集方針の検討も行っており、次回3月26日(土)の第2回委員会で決定する予定である。

・財務関係

山下担当理事 特になし

・編集関係

古谷担当理事 特になし

・学会賞関係

荒井(克)担当理事 特になし

・シンポジウム関係

松山担当理事 特になし

・出版関係

木島担当理事 特になし

・水産技術誌監修関係

伊藤担当理事より、以下の報告があった。平成28年2月26日(金)に第1回委員会が開催され、今年度と来年度の方針、投稿要領を現状の改正案で改正すること、研究不正にも検討が必要であること、などが議論された。

・国際交流関係

青海担当理事より、以下の報告があった。日本水産学会春季大会中の平成28年3月29日(火)11:30~12:00にアメリカ水産学会 Parish 会長と塚本会員が講演予定である。また同日12:00から委員会を開催予定である。

・水産教育関係

荒井(克)担当理事より、以下の報告があった。

- 1) 日本海洋学会から提案のあった小学校における水産教育について委員長に伝えて会員に意見を聞くことになった。
- 2) 次回のシンポジウム企画をメールで相談している。
- 3) 平成28年3月27日12:00から水産教育推進委員会を開催予定である。

・水産政策関係

山下担当理事 特になし

・漁業・資源管理関係

渡邊担当理事より、平成28年3月26日(土)12:00から委員会、13:00から第67回講演会を開催予定であるとの報告があった。

・水産利用関係

佐竹担当理事より、平成28年3月27日(日)12:00から委員会を開催予定であり、講演会のテーマについて検討するとの報告があった。

・水産増殖関係

木島担当理事より、平成28年3月26日(土)11:30から委員会、13:00からシンポジウムを開催予定であるとの報告があった。

・水圏環境関係

山下担当理事より、平成28年3月26日(土)11:30から委員会、13:00からシンポジウムを開催予定であるとの報告があった。

・男女共同参画関係

大越担当理事より、平成28年3月29日(火)12:10から委員会と談話会(ランチオンセミナー)を開催予定であるとの報告があった。

・社会連携関係

嵯峨担当理事 特になし

- ・将来計画関係
 - 古谷担当理事 創立 85 周年記念事業委員会から報告する。
- ・北海道支部
 - 嵯峨担当理事 特になし
- ・東北支部
 - 吾妻担当理事(渡部会長が代読) 特になし
- ・関東支部
 - 時村担当理事より、次の報告があった。
 - 1) 平成 28 年度春季大会準備状況
 - a) 講演プログラムの編成が終了し、大会ホームページにアップロードした。
 - b) 会場費減免のための東京海洋大学との共催は、東京海洋大学から見送るとの回答があり、会場の利用時間帯の明示などによって会場費節約に努める。
 - 2) 水産学若手の会ミニシンポジウムへの支援
 - a) 支部幹事の多数決により、関東支部の事業計画の一環として、平成 28 年度春季大会中の水産学若手の会主催ミニシンポジウムを共催し、本部からの支援の不足分の支援を行うことになった。費用の負担については、学会本部と相談の上で平成 28 年度予算から支出する。
- ・中部支部
 - 飯田担当理事 特になし
- ・近畿支部
 - 荒井(修)担当理事より、平成 28 年度秋季大会におけるホテル確保が困難と予想され、その旨、日本水産学会誌の会告に載せる予定。
- ・中国・四国支部
 - 関担当理事 特になし
- ・九州支部
 - 香川担当理事 特になし
- ・英文書籍監修委員会(特別委員会)
 - 東海担当理事 特になし
- ・東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)
 - 渡部会長より、小冊子のまとめを関係者に依頼しているとの報告があった。
- ・水産学若手の会(特別委員会)
 - 渡部会長 関東支部報告 2)と同じ
- ・日本水産学会 85 周年記念事業委員会(特別委員会)
 - 渡部会長より、以下の報告があった。
 - 1) 標記記念事業の準備状況
 - a) 平成 28 年 3 月 13 日(土)理事会前に委員会が開催された。
 - b) 各分科会委員会から進捗状況の報告があり、概ね順調に準備が進んでいる。
 - c) 募金活動の骨子が決まり、来年度できるだけ早期から募金活動を開始したい。
 - 2) 来年度の委員会体制
 - a) 本委員会は来年度も同じ体制で作業を進める。
- ・財務検討委員会(特別委員会)
 - 山下担当理事より、本年度の問題点を整理し、次回財務委員会で次年度委員に申し送る予定であるとの報告があった。
- ・水産・海洋科学研究連絡協議会関係
 - 東海担当理事 特になし

その他

・委任状の回収について

金子総務担当理事より、各理事に対し、平成 28 年度社員総会に欠席する会員の委任状提出について指導依頼があった。また、東海総務担当理事より、平成 28 年度社員総会の総会資料は 3 月 14 日(月)に発送を予定しており、3 月 16 日(水)には会員の手元に届く予定であり、同封した委任状を総会の成立に間に合わせるためにも 3 月 24 日(木)までに投函してもらいたいとの説明があった。また、各理事に対し、事務局より委任状回収数の報告をメールで随時連絡するので、委任状回収率向上への協力依頼があった。

・次回理事会の開催について

金子総務担当理事より、次回第 2 回理事会は平成 28 年 3 月 26 日(土)15 時から、国立大学法人東京海洋大学品川キャンパスで開催する予定である旨確認があった。

・学会賞受賞者講演の座長について

金子総務担当理事より、平成 28 年 3 月 28 日(月)・29 日(火)に行なわれる学会賞受賞講演の座長の確認があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、17 時 02 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長(代表理事)及び監事は記名押印する。

平成 28 年 3 月 13 日
公益社団法人 日本水産学会

議長 会長(代表理事)

監事

監事